

特定秘密保護法制定に反対する請願署名

2013年 月 日

衆議院議長 殿

参議院議長 殿

政府が制定を目指している「特定秘密の保護に関する法律案」は、政府にとって都合の悪い情報を隠し、それを漏らしたり情報を知ろうとする者を厳罰に処するものです。

政府原案では、「我が国の安全保障に関する事項のうち特に秘匿することが必要である」事項で、「防衛」「外交」、さらに「特定有害活動の防止」「テロ活動の防止」について「特定秘密」に指定するとしています。しかし、何が秘密に指定されたのかは国民に知らされず、「特定有害活動の防止」「テロ活動の防止」を理由にすれば、警察の活動も含めた広範な情報を秘密にすることができ、政府にとって都合の悪い情報を国民の目から隠すことが可能になります。TPP交渉や原発に関する情報も秘密の対象になる可能性があり、国民の知る権利は侵害されます。

また、情報に接近しようとする様々な行為が処罰(最高懲役 10 年)の対象となり、マスコミの取材や国民の情報公開を求める取り組みも処罰される恐れがあります。さらに、秘密を取り扱う人を対象にした「適性評価」によって、思想信条の自由やプライバシー権が侵害されることとなります。秘密保護法の目的は、国民の目と耳をふさぎ、アメリカと一体で戦争するために情報を共有することであり、憲法改悪の先取りに他なりません。

このような、日本国憲法で保障された基本的人権を侵害し、国民主権・民主主義・平和主義を根底から破壊する特定秘密保護法を制定しないよう、強く求めます。

請願項目

一 特定秘密保護法を制定しないこと。

お名前	住所

Stop! 秘密保護法 共同行動

【参加団体】9条フェスタ市民ネット、自由法曹団、青年法律家協会弁護士学者合同部会、全国労働組合総連合、千代田区労働組合協議会、日本機関紙協会、日本国民救援会、日本ジャーナリスト会議(JCJ)、日本婦人有権者同盟、日本マスコミ文化情報労組会議(MIC)、日本民主法律家協会、マスコミ9条の会連絡会(50音順)

【連絡先】MIC 事務局 〒113-0033 東京都文京区本郷 4-37-18 いろは本郷ビル 2 階 TEL:03-3816-2988